

高病原性鳥インフルエンザに厳重警戒!!

今シーズン、すでに道内を含む13道県20事例で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています。

死亡野鳥においても、道内の複数の地域で本病ウイルスが確認されており、本病の発生リスクは極めて高い状況が続くと考えられます。

特に次の事項に留意し、
家きん舎へのウイルス侵入リスク低減に努めてください

長靴の履き替えと手指の消毒を「再」徹底！

野外を歩いた長靴には鳥インフルエンザウイルスが付着している可能性があります。鶏舎内へ持ち込まないために、畜舎専用長靴に履き替えと消毒を農場で作業する方全員が徹底してください。直接家きんに触れる手指にもウイルスは付着します。手指消毒や作業用手袋の消毒等を徹底してください。



手指消毒



専用長靴の使用と消毒



長靴は汚れを落とす！
消毒薬は毎日交換！

鶏舎への野生動物の侵入防止対策を「再」徹底！

鶏舎の壁や屋根が破損していると、野生動物が侵入します。破損部を修繕し、ネット等を設置し隙間をふさいでください。特に一見隙間がないように見えても、野生動物が侵入可能な場所がある場合があります。野生動物が侵入しそうなルートを念入りに確認してください。



(農林水産省HPより)



(農林水産省HPより)



(農林水産省HPより)

- ネット網目は2cm以下とし、2cm以上の場合はネットを二重にする。
- 畜舎に集卵ベルトや飼料パイプ、堆肥排泄ためのコンベアー等の開口部がある場合、野生動物が侵入する隙間がでしやすいので、パネル等を設置する。

農場への野生動物の誘因防止対策を「再」徹底！

家さんの死体や排せつ物は、野生動物への誘因となります。

家さんの死体は、密閉できる箱等で適切に保管しましょう

堆肥舎等の農場内施設についても、野生動物誘因防止のため、防鳥ネット等を設置しましょう。



密閉容器の設置



堆肥舎の防鳥ネット設置

ため池等への野鳥の飛来防止対策を「再」徹底！

小さなため池でも、野鳥が飛来し生活している場合があります。農場の敷地内や鶏舎の近くにため池等があると、この野鳥が農場の敷地内にウイルスを含む糞便を落とす可能性が高くなりますので、ため池の水を抜いたり、忌避テープやてぐす、ネット等を活用し、野鳥の飛来を防止しましょう。



ため池の水抜き



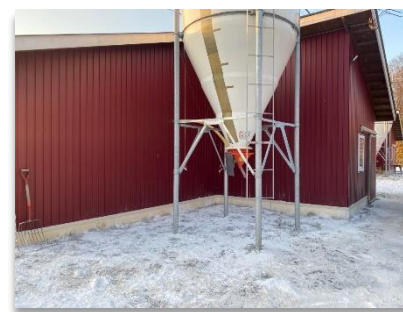
忌避テープの活用

農場の出入口と鶏舎周囲の消石灰散布を「再」徹底！

農場に入る人や車両を消毒するため、出入口や農場敷地内に、毎日、消石灰を散布しましょう。また、ため池等の水場付近は特にウイルス汚染リスクが高いことから、徹底して消毒を行いましょう。



出入口への消石灰散布



畜舎周辺への消石灰散布

自己点検の継続実施！直ちに改善！
異常家さんの早期発見・早期通報！